

権利としての住まい (HABITACULUM)

住まい <----> マルチハビテーション

- Passive Multi Habitation という形で現われる現時点の諸問題を吸収できる上位構造としてのアイデア的なハビテーションについて考える
- なぜ権利からなのかを考察する

キー・コンセプト (KC) 権利 回復性 皮膚空間 恒常性 非決定性 現代の質の成就過程

I 原理 住まいの視点 KC 権利 媒質 Incubator 対価 リソース 回復性

- 生得の権利の実現のための支援・補障環境 (compensatory) Incubator
- 回復性と権利の対価

権利：古典的定義「他を害しないすべてをなしうること」

現代的定義「DNA の記述する状況を支障なく実現出来ること」

—— しかし存在するだけですでに他を害する ----->権利は回復性を前提としている

1. 生存の媒質としての住まい Habitat (環境、成育地) 生存に必要な条件を備えた環境
 ポテンシャルのある空間 Habilito (能力を与える) Habilitas (熟練、才能) の備蓄
 —— ここに関わる権利と対価 Habitatio (居住、借料)

----- 回復性を備えたシステムとしての住まい 権利、対価、社会的費用

回復性の評価の基準

回復するときの負担の大きさにより、失われたものの価値を評価する

回復性を高めるための保存性 Habitualis (継続している) つまり Durable

Closed Environment 中での処理+外部化

BIOSPHERE II -- TUCSON ALIZONA

「鬼は外」から「鬼は内でバラセ」 サルから少なくともイヌへ カメ

→ハビテーションとは一個の家屋を考えて済むことではなく、社会メディアを考えることなのだ
住まいとは、社会メディアの個及び各社会的機能レイアにおける接触機能

2. 権利の実現度の一つのアспектとしてのリソースの専有度 (時間、空間、内容)

中間集合を含んだ全体の整合性のある成立において Habitio (所有する)

Habiturido (所有したいと強く願う)

リソース難 権利基準の上昇 エフェクターの変遷の中で起こる青方偏移

中間集合は、王様や貴族はおろかアッパーミドルのようにも行かない

----- 中間集合がアッパーミドル以上のクラスと同じリソースを要求したら日本中使ってもたりない
ピアノ殺人事件

●この、日本で起こる問題は遠からず地球全体で起こる

→ 新しいシステムが必要

----- Cote d'azur ----> Languedoc 中間集合の行政的認知

ゴルフ、テニス ----> ボーリング、ディズニーランド、マクドナルド、嘘臭い自然のリゾート

3. メディアの存立の条件と維持技術、及びその対価の性質

・ソドムとゴモラの破壊の条件（創世記第18章23） 50→45→40→30→20→10

・銭湯

・オーケストラ

住いにおけるソドムの条件 ----- 権利としてすべてのソーシャル・メディアの上に立った住まい
職住接近における個の権利（メリットの不均等）

●Family という構造はこの不整合に対応できるのだろうか

→ そして誰がメンテナンスするか 社会メディアにおけるUPPの実現形態

4. Capacity と社会的技術 -----> 維持技術

・アブラム（後のアブラハム）とロト（創世記第13章6）

ノアの箱舟は三階建て 300*50* (30+1) キュビト （創世紀第6章14）

1 キュビト=44.5~61cm

人別帳 1693 -----> 人返し 旧里帰農令 1790

5. そこで

SOLUTION 時空間の重層利用

超時空間的マルチハビテーション

→ IMPLOSION によるPROBLEM SOLVING

→ INDETERMINANCY によるPROBLEM SOLVING

静かな高機能空間

- 皮膚空間 (IN/EX-FORMATION 機能の空間) の外延
- 部分、個、Family、部分社会、全体社会のエクソスケルトン

1. Habito (住む、滞留する) にかかわる維持機能の Externalization Home の機能の外部化

- Habitaculum (住家) の基本機能と社会維持機能としての外部機関の成立と発達
— Habitudō (性質、外観) Habitus (装い) 機能を纏うこと

- ・外部化における機能の Replaceability メディア、ツールの置き換え可能性
そのための支援機能

Replaceable なもの

サービス型、利便提供型 (使い捨て型)

Products --- Raw Material --- Prepared Material

パン屋 米炊き屋 磨いだ米 パックされた魚 便利屋 ファストフード 貸しおむつ 紙おむつ

Non Replaceable なもの

----> 情報 職業 教育環境 (本当は可能)

- ・BASE (基地) としての機能 ---- 存在の支援機能の恒常化 (時間、空間、内容)

- 生存に関わる外部機能が、どの程度恒常的 (時間、空間、内容) であるか

→ 権利の実現度

任意の場所に移ったそのときから、そこに30年いたのと同じようにその場所を使うことが
出来、その場所に貢献することが出来るような支援機能を持った空間

→ コンシエルジュの機能をもった社会メディアの整備

やがて広範で本格的な社会制度となるだろう ---- Habitaculum (住まい) の拡散の要件

- ・外部機関の利点と問題点

集中したところで問題処理 (非汚染的廃棄物処理、再生処理等) ができる

(今はまだやってないが)

個別に廃棄、排出し拡散したものは回収できない

廃棄物の量が増える (しかしこれは再生可能なリソースが増えることでもある。)

---- ここにかかわる技術の開発がまだ沢山ある

2. 権利の条件としての恒常性、連続性 (空間、時間、内容)

---- Habito (所有する) Habitualis (継続している、習慣上の)

ある条件をもった空間、皮膚空間の所有

エクソスケルトンの恒常化

- ・エア・コンディショニングの範囲が示唆する権利の実現形態、恒常性（空間、時間、内容）

コンディショニング・エンヴァイロメントのコンディショニングの範囲で権利の範囲、権利意識の範囲の大きさが決まる。つまりその空間における人の権利の大きさが解かる。

アンティシジャンブルも、ロッカーも、階段も、すべての場所が1年のうちに1分だけ使うそのためのために常に快適であるようにメンテナンスされている

ヨーロッパでは17世紀にすでに暖炉ではない快適な暖房装置があった

旅館からホテル風の外観に変わったホテル風の旅館と、ヨーロッパ式のホテルホスピタリティーを持ったホテルの意識の違い 快適性の違い 安心感（信頼度）の違い

皮膚空間拡大の権利

各部屋に自由制御可能なエンヴァイロメント・コンディショナー（換気も、情報も、クリーンも）

都市のすべての部分が自由制御可能なエンヴァイロメント・コンディショナーを備えコンディショニング・エンヴァイロメントとなる

都市とは外部機能の集積

都市の規模は、極くまれにしか使われないような外部機能の成立をも可能にする

----- 負担は重くなる 誰がメンテナンスするか

4. III への推移部 機能の恒常化から非決定へ

●住まい <=> 定住 なのか 主食と副食の関係 主食はあるのだろうか

機能の恒常化 ---- 装置化、制度化、<---- 自動化 Habitation（所有する）の変化

パリのメトロの自動扉 ---- 社会意識の装置化、自動化 ←●

----> 今は使われていない

Solution ---- 待たないで次が来れば誰も急がないのだ

---- 媒質は連続的となり非決定となる ←●

常に必ず Provide されるものは、後生大事にヒシと抱いて歩かなくてもよいのだ
つまり決定的に所有しなくてもよいのだ

●→ 異なった形（質）の恒常化 → 間欠性に対応する恒常化 決定性
→ 非決定の恒常化

権利の条件

→ 間欠性（空間、時間、内容）の量子が常に必要程度に小さいこと

○諸機能との非決定的対応 恒常性

○メディア・コンパウンド メディア・アマルガメーション

1. 非決定的な恒常性

ポテンシャルのある媒質の中での条件のある間の存在

必要なものが必要なときに必要な状態で存在する

無常

道可道 非常道

老子

行く川の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。

よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。

世の中にある人とすみかと、またかくのごとし。

鴨 長明 1212 方丈記

孫悟空は観音の掌の上のあらゆるところに確率的に存在する

西遊記

2. Multi Habitation ---- 定住の拡大 Ubiquite Divine Ubiquite Humaine

----> 非決定的定住 ---- 量子 論的定住

-----> 地球上全てが人間（個）の基地

---- 個人は地球上のあらゆる場所に確率的に存在し、その場所を使い、その場所に貢献する

人間の種としての一つの特徴 ---- 常に何十万の個体が空中にいる非決定的な集合

この非決定の全体に対応する地球社会の媒質としての環境

一つのレイヤのソリューションとしてのマルチハビテーション

EC 統合も同じ概念の異なるレイヤにおけるソリューション

税金は地球に払おう せめて国連に払おう

3. メディア・コンパウンド、メディア・アマルガメーションの、権利に対応した非決定的な実現

全体の要求は多様だが、一人ずつの要求は一人分 <----- これに対応

DNA は各人唯一であり、この権利への対応は各人個別

----- 全体の大量化と個の個別化の平行に対応するメディア 現代のメディアの特性

任意の場所で、任意のアマルガムを、任意の目的においてもつ権利

それぞれの必要性に対応した異なった機能のアマルガムを地球のあらゆるところに確率的にもち、それ

によってその場所の Creativity と Productivity に貢献する。

これに最も近い形は、現存するものから類推するとホテル・コンパウンド呼ばれるべき形態
Copley Center Boston 等